

令和6年2月22日

犬山市長

団体の名称 福猫の里犬山

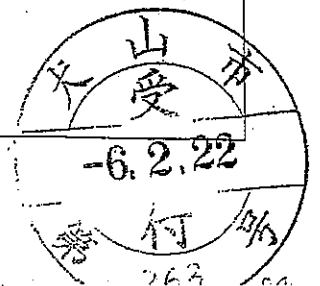
所在地

代表者

(役職) 代表

令和5年5月9日付け 5犬地指令第4号で交付決定のありました助成金について犬山市市民活動助成金交付要綱第13条の規定に基づき下記のとおり報告します。

1. 事業名	猫の保護活動
2. 助成金交付額	金 200,000円 (総事業費 1,369,124円)
3. 助成部門	(1)はじめの一步部門 (2)市民活動助成部門 (3)コラボ・マッチング部門 ((1)~(3))のいずれかに丸を付けてください。 ※コラボ・マッチング部門の場合、協働する団体の名称
4. 事業実施期間	令和5年5月9日 ~ 令和6年1月31日
5. 事業の対象・目的 (どのような対象のどのようなニーズに応えようとするものでしたか?)	・野良猫や飼い主のいない猫の安全確保と殺処分される猫を減らす。 ・エサやりや片付けなどの管理方法をアドバイスし、地域の住環境や近隣トラブルの改善。 ・TNR活動の普及、さくら猫の認知度の向上。
6. 事業の結果 (上記目的のために、いつ頃、どのように事業を実施し、どのような結果が得られましたか?)	・春と秋の繁殖シーズン前にTNRに力を入れてきました。ブログでの呼びかけや譲渡会場でポスターを掲示し相談や依頼、情報があれば早急に対応し、期間内で116匹の不妊手術をしました。半数以上がメスでかなり制限出来たと思います。保護した数は51匹でそのうち40匹に里親が見つかっています。



7. 事業の成果・効果

(1)申請時に目指した成果(申請書9.(2))は達成できましたか?内容を記入してください。

A B C D
達成できた 達成できた どちらかという達成できなかった
(A,B,C,Dのいずれかを○で囲んでください。)

・100頭を超えるTNR数と40頭の保護猫が順渡になった。

・救済者や支援者さんから資金面での協力が得られた。

◎上記の成果にはどのような要因が考えられますか?具体的に記入してください。

・活動に積極的な新規会員の意見で、寄付金の使い方をTNR優先にする方針にした。

・ブログや順渡会で活動内容を知ってもらい支援者が増えた。

(2)新たな課題は見付かりましたか?内容を記入してください。

A B
課題が見つかった 課題が見つからなかった
(A,Bのいずれかを○で囲んでください。)

・エサやりさんの高齢化で死亡や施設入所などで取り残された猫にどう対応するか。

・さくら猫チケット利用の啓発とTNR活動の必要性を地域の住民にもっと理解してもらう。

(3)貴団体の活動に新たなメンバーの参加や広がりはありましたか?内容を記入してください。

A B
参加があった 参加がなかった
(A,Bのいずれかを○で囲んでください。)

・二名の新規メンバーの参加と支援してくれる方も増えた。

(4)コラボ・マッチング部門の場合、コラボレーションすることにより、より良い事業を行えましたか?

A B
より良い事業ができた あまり変わらなかった
(A,Bのいずれかを○で囲んでください。)

(5)その他、事業の実施によって得られた波及効果がありましたら記入してください。

・再依頼やTNRの依頼が増え、何とかして欲しいとの相談は減った様に思う。

・令和6年1月よりさくら猫チケット行政枠を使用したTNRが出来る様になった。

8. 今後の方針(今回の事業を踏まえ、今後どのような事業を実施しますか?)

・無責任なエサやりをする高齢者が多く近隣や介護関係の方からの情報で活動する事が多かった

様に思います。不妊手術をしても近所の理解がないととても地域猫として受け入れてもらえません。

今後まずは増やさない為のTNR活動を優先しますが、TNRしたさくら猫が少しでも長く安心して

暮らせる様に地域猫活動にも力を入れて行きたいといます。

9. 活動費用の内訳書

【収入】

科目	予算額(円)	執行額(円)	内訳
助成金	200,000	200,000	市民活動助成金
受取寄付金	403,000	633,190	手術費 478,690円 譲渡金 154,500円
寄付・募金	102,000	411,000	賛同者さんからの寄付
自己負担金	64,500	110,304	フード等飼育に掛かる消耗品
計	769,500	1,354,494	

【支出】

科目	予算額(円)	執行額(円)	内訳
報償費			
旅費			
消耗品費	180,000	255,452	4～53(42を除く) フードやトイレ用品の他、猫の 保護や飼育に必要な物品
印刷製本費	6,000	6,990	1～23 譲渡会ポスターや啓発用チラシの印刷代
通信運搬費			
手数料及び 保険料	583,500	1,092,052	1～97 ・TNR代 611,260円 犬 19匹、猫 42匹 ・医療費 480,792円
人件費			
使用料及び 賃借料			
計	769,500	1,354,494	

10. 本報告書にかかる担当者の連絡先

氏名：

電話番号：

住所：

E-mail：

市民活動助成金実績報告書

令和6年2月29日

犬山市長

団体の名称 スクールスマイルサポーターズ

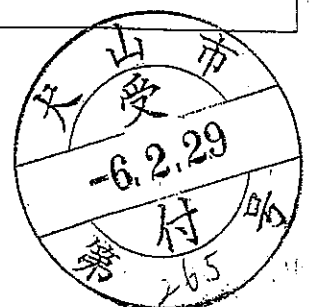
所在地

代表者

(役職) 代表

令和5年5月11日付け5犬地指令第6号で交付決定のありました助成金について犬山市市民活動助成金交付要綱第13条の規定に基づき下記のとおり報告します。

1. 事業名	スクールサポート事業
2. 助成金交付額	金 150,000円 (総事業費 270,104円)
3. 助成部門	(1)はじめの一步部門 (2)市民活動助成部門 (3)コラボ・マッチング部門 (1)~(3)のいずれかに丸を付けてください。 ※コラボ・マッチング部門の場合、協働する団体の名称
4. 事業実施期間	令和5年4月1日 ~ 令和6年2月29日
5. 事業の対象・目的 (どのような対象のどのようなニーズに応えようとするものでしたか?)	発達障がい児・肢体不自由児の学校生活をより豊かにするためには、個々の困りごとを大人の合理的配慮でカバーすることが必要になってくる。 それにより、支援の対象児は得意な部分をより伸ばせ、苦手な部分もその相乗効果であまり目立たなくなると考えている。 しかし教師の増員が進んでいない中、忙しさゆえに教師が個々の困りごとをカバーすることは難しいと思われる。 当団体が子どもたちをサポートすることで、教師は少しゆとりを持って子どもたちと接することができ、子どもたちが伸び伸びと豊かに過ごせることに期待している。 そして、子どもたちの将来に明るい光がさすよう願っている。



6. 事業の結果（上記目的のために、いつ頃、どのように事業を実施し、どのような結果が得られましたか？）

◎せんきよマルシェ市議選 2023 に出店（4/22(土)/南郷公民館）

遊びに来た子どもたちと牛乳パックや折り紙を使って手作りおもちゃを作った。様々な親子と会話をし、当団体のアピールができたと思う。出店された方と交流もできて、これをきっかけに Instagram を開設した。

◎スキルアップのための勉強会（5/20(土) ひなたぼっこ）

特別支援学校で勤務していた方に「学校で支援に入るときの心得」を話してもらった。思春期の子どもへの接し方について議論を交わした。

◎肢体不自由児の親の集まり（5/26(金)/ひなたぼっこ）

特別支援学校（高等部）卒業後の進路に不安を感じるようだ。各々に思いもあり、先輩お母さんの話を聞きたいと言っていた。

◎ボランティアミーティング

（第1回 5/20(土)・第2回 8/30(水)9/9(土)・第3回 2/17(土)、ひなたぼっこ）

ボランティアさんの都合に合わせて2日に分けて開催する予定にしていたが、集まりやすい日を1日決めて開催することに落ち着いた。各回ともに、活動内容や困ったことなど活発な意見交換ができた。

◎講演会『人と違うことはすばらしい』

（10/7(土)市民交流センタープロイデ 201・202 会議室/講師：齋藤秀一氏（株式会社ココトモファーム代表取締役）/参加者 77 名）

当事者である齋藤氏に、学生時代の苦しかった思い出や大人になってからの成功談や人と違うからこそその長けている部分の生かし方などについて話していただいた。アンケートより「とても参考になった」「自信がついた」「こういう講演は年に何度も聴きたい」との感想で好評だった。寄付金もたくさん集まった。

◎スマイルマルシェに出店（11/18(土)/ひなたぼっこ）

多くの地域の方に来ていただいた。購入してもらうだけでなく、和気藪々とおしゃべりができる場となり交流を深めることができた。寄付金も集まった。

◎肢体不自由児の支援

同じ児童を支援して3年目になる。児童はできることが増えて支援は見守り中心になったが、障害ゆえに他児童の年相応のスピードについていけない場面もあり、その部分のサポートが必要と感じた。保護者と話し合い、その児童に合った支援を行った。

◎特別支援学級の支援

（小学校）

2校の支援に入っている。子どもたちが落ち着いて授業を受けられるように寄り添い、音読の相手や丸つけ等をした。難しい判断を任せられる時もあり、先生の信頼度が上がってきたと感じている。支援に入っている方からは「○○先生～」と親しげに近づいてくる子どもたちの姿にやり甲斐を感じると聞いている。

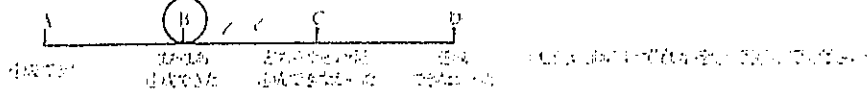
〈中学校

学校から要望があり、9月から限定的項目に副教科の授業で支援をしている。

※11月頃、英年養小学校に入学予定児童の保護者から要望があり、1月から支援をすることになった。

7. 事業の成果・効果

(1) 申請書に目出した成果・申請書中、(1)には記載できなかった内容を入力してください。

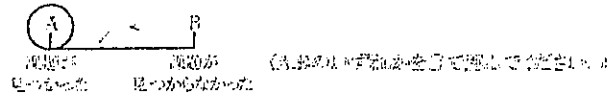


- ・募集チラシを見て、見学をする人はいないが、支援活動に参加する人が増えた。
- ・学校からは「なくてはならない存在」と言われている。卒業式の来賓にも招待された。
- ・支援に入る学校が増えたので少しずつ周知されてきていると感じる。

(2) 上記の成果にはどのような要因が考えられますか？具体的に記入してください。

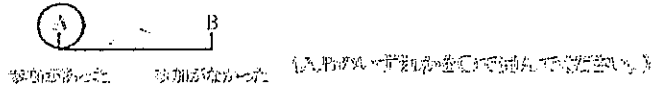
- ・募集チラシに活動内容を具体的に書いていなかった。
- ・学校の要望に一つ一つ応えていったことで信頼を得たと思う。とち上げ当初に比べて支援の内容は幅広くなってきた。

(2) 新たな課題は見付かりましたか？内容を記入してください。



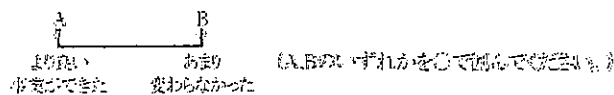
- ・支援に入ってくれる人がなかなか集まらない。

(3) 貴団体の活動に新たなメンバーの参加や来客がありましたか？内容を記入してください。



- ・2名の方から申し出があり、当団体のメンバーになった。(支援には入っていない)

(4) コラボ・マッチング部門の場合、コラボレーションすることにより、より良い事業を行えましたか？



(5) その他、事業の実施によって得られた波及効果がありましたら記入してください。

- ・私たちの活動が少しずつ周知されているようで、来年度小学校に入学予定児童の保護者から支援の依頼がきた。

8. 今後の方針（今回の事業を踏まえ、今後どのような事業を実施しますか？）

- ・活動内容がわかりやすい募集チラシをプロの方と一緒に作っていく。
- ・有償ボランティアの活動となるように学校教育課や教育委員会との話し合いを継続していく。
- ・保護者の気持ちに寄り添い代弁者となるように福祉課と連携して障がい児に関わる福祉の問題にも取り組んでいきたい。
- ・寄付金やマルシェなどを通して、安定した資金集めをする。
- ・ボランティアで支援に入る人はもちろん、支援員・介助員にも向けた勉強会をする。

9. 活動費用の内訳書

【収入】

科目	予算額(円)	執行額(円)	内訳
助成金	150,000	135,000	市民活動助成金
参加費	25,000	33,000	500円×66名
寄付金	100,000	60,164	
会計より	27,000	42,000	
計	302,000	270,164	

【支出】

科目	予算額(円)	執行額(円)	内訳
報償費	45,000	20,000	講演会講師謝礼 20000円 1
旅費	0	0	
消耗品費	32,000	23,581	コピー用紙 5624円 2-3,4(普通と同じ) インク 9452円 5,6(普通と同じ) 文房具 2508円 7-11 書籍(3冊)5500円 4(コピー用紙と同じ)5(インクと同じ)
印刷製本費	24,000	18,890	講演会チラシ(7000枚)10890円 12 会員募集チラシ(4500枚)8000円 13
通信運搬費	0	0	
手数料及び保険料	3,000	600	ボランティア保険 600円(300円×2名) 14
人件費	162,000	175,800	支援者謝礼(活動費) 88200円(300円×294回) 15-34 支援者謝礼(給食費補助) 27600円(300円×92回) 35,36 勉強会講師謝礼 10000円 37,38 講演会受付謝礼 4000円 39,40 講演会資料製本謝礼 3500円 41 マルシェ準備作業代(運搬含む)16000円 42-47 スキルアップ研修会参加者補助 11500円 48-51 チラシデザイン謝礼 15000円 52,53 講演会会場費(設備費含む)11730円 54,55 勉強会および役員会議場所代 17800円 56-60 マルシェ出店料 1700円 61,62
使用料及び賃借料	36,000	31,230	
計	302,000	270,101	

10. 本報告書にかかる担当者の連絡先

氏名: _____ 電話番号: _____
住所: _____ E-mail: _____

市民活動助成金実績報告書

令和6年 3月 4日

犬山市長

団体の名称 特定非営利活動法人にこっと

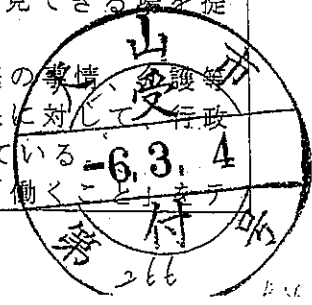
所在地

代表者

(役職) 代表理事

令和6年1月18日付け5大地指令第7号で交付決定のありました助成金について犬山市市民活動助成金交付要綱第13条の規定に基づき下記のとおり報告します。

1. 事業名	子育て家庭を応援! 第2回いぬやまワーク応援フェスタ meet×meet ～ママもキッズも、いろいろなシゴト&働き方と出会おう～
2. 助成金交付額	金 161,000円 (総事業費 322,811円)
3. 助成部門	(1)はじめの一步部門 (2)市民活動助成部門 (3)コラボ・マッチング部門 ((1)~(3))のいずれかに丸を付けてください。 ※コラボ・マッチング部門の場合、協働する団体の名称
4. 事業実施期間	令和5年 5月 11日 ~ 令和6年 1月 31日
5. 事業の対象・目的 (どのような対象のどのようなニーズに応えようとするものでしたか?)	<p>【対象】犬山で社会参画・自己実現への一步を踏み出したい女性</p> <p>【目的】当事業は令和4年度より引き続き、犬山市内・近郊に住む子育て中の女性を対象とし、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・出産を機に仕事を辞めて、何かしら働くタイミングをつかめずにいる ・働くことを通じた社会との接点が減っていて、就労を再開する自信が持てない ・自分の資格や特技、過去の就労経験を、どのように活かして地元で働けるか知りたい ・子どもの手が離せるまでは、短時間・週数日などの働き方がしたい ・将来的に親の介護などでも、在宅・短時間など融通の利く働き方を希望する可能性があるが、今のうちにどういうスキルを身に付けておけると良いか考えたい <p>などの思いに対して、子育て中の働き方についてもっと多くの選択肢が発見できる場を提供することを目的に実施する。</p> <p>現状としては、地元で気軽に働き方等の相談や、子どもの預け先、家庭の事情も含めて“一緒に相談ができる”場所がなく、サポートを必要とする対象に対して行政の支援が連携しワンストップとなるまでには多くの時間が必要だと感じている</p> <p>そのため、市民が協働してフットワーク軽くつなぎ役となり、まずは「働くこと」</p>



一マに女性や事業者が直接コミュニケーションを取ることができる場を設けることで、次への一歩に繋がる機会とする。

6. 事業の結果（上記目的のために、いつ頃、どのように事業を実施し、どのような結果が得られましたか？）

●事業実施

「令和5年度いぬやまワーク応援フェスタ meet×meet !!」

～ママもキッズも、いろいろなシゴト&働き方と出会おう～

日時：令和5年11月26日(日) 10:00～15:00

会場：犬山市民健康館さら・さくら

企画：「子ども向け職業体験」事業者7ブース出展

「働き方マッチング相談会」事業者8ブース出展、19名の相談参加

「家族で値付け体験フリーマーケット」子育て家庭24ブース出展

来場者：約340人

犬山で働くことを考えたい子育て中の女性を対象に、女性と家族も一緒に、気軽に楽しく体験できるイベントとして「いぬやまワーク応援フェスタ meet×meet」を開催した。

「職業体験」

チラシを市内小学校や子育て関連施設等へ配布したところ、事前予約で早期に満席になった体験が多く、保護者にとっても子どもが仕事に関する体験をすることへの関心の高さを感じた企画となった。

「働き方マッチング相談会」

相談会には19名の参加があった。40代女性が42%、30代50代が各26%となっており、現在パート・アルバイトで就業中が8名、フルタイム6名、他5名の内訳となったが、「とても良かった」57%、「良かった」42%の回答があった。

事業者へ直接問い合わせを検討したいという回答が約半数あり、働き方を直接相談できる機会については、「とても良いと思う」68%、「良いと思う」31%の回答があり、ニーズを感じられる結果となった。

<参加者感想（一部抜粋）>

- ・ 時間優先で仕事選びを考えていましたが、実際にお話を聞いて、自分に向いてるかどうか考える事が必要だなと実感した
- ・ 自分の興味ないところも話がきけて、もっと知りたいと思えるから良かった
- ・ 実際に直接お会いして話ができるので、細かい内容を伺えると共に、こちらの話も詳しくお話し、聞いて頂けるので楽しかったです
- ・ 自身の強みを聞かれて、最近自身の仕事観などを考えていなかったもので、立ち止まって考える事ができました
- ・ お仕事に対するイメージが変わった、気楽に話がきけて良かった
- ・ いろいろな企業のお話が聞けて良い機会になった

「家族で値付け体験フリーマーケット」

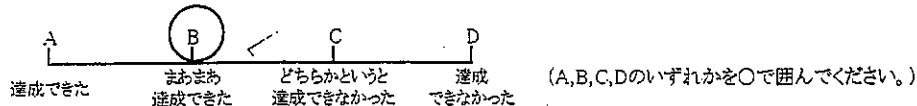
会場とした施設のホールの広さの関係で、出展ブース数を減らしての実施となったが、母親だけでなく、子ども連れの家族での出展もあり、楽しみながら値付け体験に参加する様子があった。子どもの職業体験の待ち時間などに寄られる方だけでなく、市民健康館の利用者も立ち寄るなど、幅広い世代が入場していた。

●広報活動

- ・ イベントチラシを作成し、市内小学校、児童センター、子育て支援センター、子ども未来園、市内幼稚園等へ配布（7500部）
- ・ 告知協力依頼（尾北ホームニュース、ももっぴ通信）
- ・ 公式LINE、SNSで情報配信、拡散、広報犬山市民のひろばで告知
- ・ 開催レポートをホームページへ掲載し、参加者・関係者等へ配信

7. 事業の成果・効果

(1) 申請時に目指した成果（申請書9. (2)）は達成できましたか？内容を記入してください。

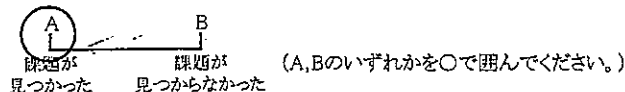


・働き方マッチング相談会へ参加した女性からは好感触が得られ、半数が直接事業者への問合せなど一歩前進しようと感じられるアンケート結果があった。しかし、相談会自体への参加者が想定よりも少なかったため、「まあまあ」よりも「まあ」という程度の達成度と感じている。そのため出展事業者にとっても、多くの相談の中から、雇用体制の選択肢につながる情報が十分に得られたとは言い難い結果となった。職業体験、価値体験フリーマーケットは、多くの関心を寄せてもらえたと感じている。

◎ 上記の成果にはどのような要因が考えられますか？具体的に記入してください。

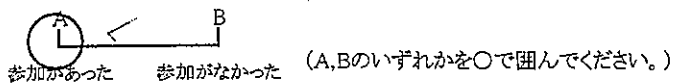
第1回とは異なる会場で、企画ごとの配置については、参加者の誘導などが思うようにできなかった。また、来場者がさまざまな事業者の話を聞くことができるきっかけ作りの企画が不十分だったため。

(2) 新たな課題は見付かりましたか？内容を記入してください。



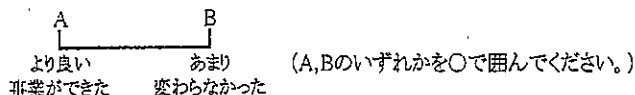
- ・さまざまな出展事業者から気軽に話が聞けるなどコミュニケーションを取りやすくする
- ・参加者の会場内誘導の工夫
- ・子育て中の女性の雇用（働き方や業務等）を見直す機会となるような事業者への事前ヒアリングと、事業者側の取組みに関する参加者側への情報提供
- ・啓発活動としての理解促進、協力者を増やしていく

(3) 貴団体の活動に新たなメンバーの参加や広がりはありませんでしたか？内容を記入してください。



- ・新規会員の入会が3名あった

(4) コラボ・マッチング部門の場合、コラボレーションすることにより、より良い事業を行えましたか？



(5) その他、事業の実施によって得られた波及効果がありましたら記入してください。

子どもが地域の大人と関わる機会、犬山の事業者を知る機会としては、職業体験企画には想定以上の参加希望者が多かったことから、事業者側にとっても反応を知る機会となった。

8. 今後の方針（今回の事業を踏まえ、今後どのような事業を実施しますか？）

- ・犬山は、「子育て中の女性の働き方を応援するまち」という認知がひろがるよう、第3回の開催も企画し、事業を継続していく
- ・事業者側への啓発事業として、子育て中の女性の雇用（働き方や業務等）を見直す機会となるようなヒアリングなどを実施しながら、引き続き、女性にも子ども達にも、地元の企業を知る機会として、楽しく参加しながら気軽なマッチングにつながる企画を検討していく
- ・会場内の参加者誘導などの工夫もおこなっていく

9. 活動費用の内訳書

【収入】

科目	予算額(円)	執行額(円)	内訳
助成金	161,000	161,000	市民活動助成金
協賛金	40,000	50,000	企業協賛金
参加料	100,000	87,000	職業体験 7 枠、相談 8 枠の企業出展料 (@5,000 円×15 枠) 75,000 フリーマーケット出店料 (@500 円×24 枠) 12,000
事業費	21,050	24,811	会計より
計	322,050	322,811	

【支出】

科目	予算額(円)	執行額(円)	内訳
報償費	80,000	80,000	告知チラシ・リーフレット・カードデザイン制作等 No.1~2
消耗品費	45,650	46,802	消耗品、会場装飾品等 No.3~12
印刷製本費	72,000	71,449	告知チラシ・リーフレット・カードデザイン等 会場掲示物等 No.13~22
通信運搬費	2,400	560	郵送費 No.23
手数料及び 保険料	7,000	0	
人件費	105,000	124,000	年間運営活動謝礼 63,000 円 No.24~29 当日運営謝礼 58,000 円 No.30~44 開催報告書作成等謝礼 3,000 円 No.45
使用料及び 賃借料	10,000	0	
計	322,050	322,811	

10. 本報告書にかかる担当者の連絡先

氏名 :

電話番号 :

住所 :

E-mail :

市民活動助成金実績報告書

2024年 3月4日

犬山市長

団体の名称 犬山雅楽会

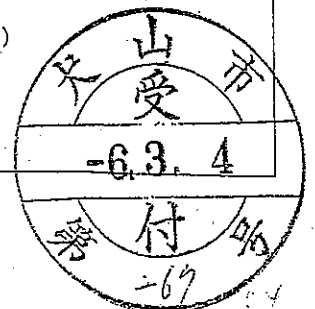
所在地

代表者

(役職) 代表

令和6年 1月18日付け 5犬地指令第 13 - 号で交付決定のありました助成金について犬山市市民活動助成金交付要綱第13条の規定に基づき下記のとおり報告します。

1. 事業名	犬山から雅楽を広めよう (犬山へのご奉仕と観光資源に)
2. 助成金交付額	金 200,000 (総事業費 422,948 円)
3. 助成部門	(1) はじめの一步部門 (2) 市民活動助成部門 (3) コラボ・マッチング部門 ((1)~(3)) のいずれかに丸を付けてください。 ※コラボ・マッチング部門の場合、協働する団体の名称
4. 事業実施期間	2023年5月19日 ~ 2024年3月4日
5. 事業の対象・目的 (どのような対象のどのようなニーズに応えようとするものでしたか?)	雅楽は、日本の古典音楽で、1,300年以上も続く音楽と舞です。2009年ユネスコの世界無形文化遺産に登録されましたが、知らない方が多いのが現状です。日本の文化の一つとして継承すると共に、子ども達への雅楽体験や若い世代の方に雅楽を知っていただき、次の世代へ繋げたいです。また、市内の神社で楽人の高齢化により途絶えてしまおうとしている神事を、次の世代につなぐお手伝いをし、地域や寺社へのご奉仕をします。そして、観光客が戻ってきた犬山を雅楽でさらに盛り上げて、文化的で楽しい町であることをアピールしたい。
6. 事業の結果 (上記目的のために、いつ頃、どのように事業を実施し、どのような結果が得られましたか?)	<ul style="list-style-type: none"> 9/10 (日) 和のマルシェで演奏 (演奏を聴いていた人は、30人位) ... ボランティアとしてマルシェに参加。地域に奉仕 9/10 (日) 揖斐川町秋季例祭 雅楽奉納 (神事参加者30人位) ... 地域にご奉仕 9/14 (木) 手力雄神社 雅楽奉納 (雅楽の演奏者40人位、お客さんは200人位) ... 他団体に協力。横のつながりを深めた。 10/8 (日) 北名古屋八幡神社秋祭り 雅楽奉納と演奏会 (100人位) ... 地域に奉仕。北名古屋の方々に雅楽を知っていただく



- ・ 11/3 (祝・全) 犬山茶と雅楽の会 (尾間さんの日屋お披露目会) (60人位)
 - ・・・雅楽を近い距離で聴いていただいたり、楽器に触れたり、お客さんと個別に雅楽のお話をすることができた。犬山茶と犬山城と雅楽のコラボ、演奏会とは違うアピールができた。
- ・ 11/19 (日) 秋の演奏会 犬山城前広場 (60人位)
 - ・・・観光客を中心に雅楽を知っていただく機会となった。
 - 無料で開催だったので、雅楽ファンの方だけではなく、見たことがない方にも来ていただけた。外国人の方にも、犬山はすごいと言ってもらえた。犬山神社さんのお部屋を控え室としてお借りし、犬山神社さんと新しい関係を築くことができた。
- ・ 12/9 (上) 堀部邸 雅楽体験会と尺八のコラボ演奏会 (30人位)
 - ・・・和楽器をキーワードに、尺八や雅楽を楽しむ会を開いた。11/19にみえた方々も、来てくださり、雅楽の楽しさを伝えることができた。
- ・ 12/14 (木) 犬山北小学校 文化庁の事業として、体験授業のお手伝いをする (6年生 90人位)
 - ・・・元宮内庁式部職楽首席楽長の豊英秋先生と一緒に演奏したり、先生の人間性に触れることができ、より一層雅楽の魅力を感じてもらえることができた。
- ・ 2/18 (日) 雅楽松風会の定期演奏会のお手伝いをする (500人位)
 - ・・・源氏物語に出てくる世界を150年ぶりに再現。岐阜のニュースや新聞に取り上げてもらい、雅楽の素晴らしさをアピールするお手伝いできた。
- ・ 堀部邸で、年間6回お借りして練習会を行った。この時堀部邸のお部屋を公開し、側で聞いていただく機会とした。興味を持っていただく機会を積極的に作った。

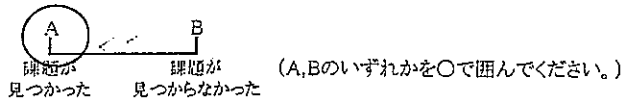
7. 事業の成果・効果

(1) 申請時に目指した成果（申請書9. (2)）は達成できましたか？内容を記入してください。



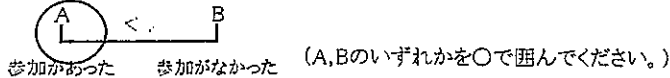
- ① 紅葉会の参加者120名を上回る事を目指す。
 - ・・・観光客中心で120人集まらなかった。地元の方は、車を駐車場にとめる必要があるため、来にくいとのこと。（駐車場は屋空いていない）。
 - ② 興味を持つ人が増え、新しいメンバーに恵まれる。
 - ・・・個別にお話しする体験会の開催は有効だった。堀部邸の練習会もよいアピールとなっていると思う。新しいメンバーも今年度4名得ることができた。
 - ③ 他団体とのネットワークが広がっている。仕事の依頼が増える。
 - ・・・いろんな団体から声をかけていただくことができた。収入にはつながっていませんが次年度のイベントのお誘いをいただいた。（5本）
 - ④ 神事や行事を任せてもらえる。地域の支援となる。
 - ・・・今年は新しく、北名古屋市の八幡神社さんと尾張浅間神社さんの神事をやらせていただきました。来年度は、春日井市の天宮神社さんと栗栖の桃太郎神社さんでの神事をやらせていただく予定となっている。
- ◎ 上記の成果にはどのような要因が考えられますか？具体的に記入してください。
 少しずつですが、「犬山雅楽会」の存在を知っていただけたかと思う。
 たくさんの人とふれ合う機会があったのが良かった。

(2) 新たな課題は見付かりましたか？内容を記入してください。



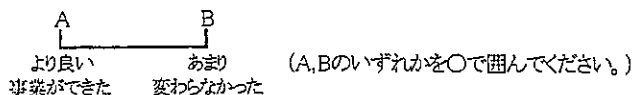
ご奉仕させていただくお話は来ますが、お仕事に繋がっていない。金銭面での自立をするために、お仕事としての演奏もできると良い。
 年に1回主催事業として大きな演奏会の自主開催ができるよう目指したい。

(3) 貴団体の活動に新たなメンバーの参加や広がりはありませんか？内容を記入してください。



新規メンバー4人に恵まれた。全く経験のない人1人、少し経験のある方1名、他の団体から2名の加入があった。前者2名は、ネットを見ての問い合わせだった。HPを立ち上げたことは良かった。

(4) コラボ・マッチング部門の場合、コラボレーションすることにより、より良い事業を行えましたか？



(5) その他、事業の実施によって得られた波及効果がありましたら記入してください。

個人レッスンを積極的に受けたり、他団体の練習会に参加をしたりして、個人の力量も上がってきた。○月○日に演奏をするという明確な目標があるため、練習を頑張りと、演奏できる曲目が増え、技術も上がってきた。
 犬山市外からの他団体にも声をかけていただけられるようになった。

8. 今後の方針（今回の事業を踏まえ、今後どのような事業を実施しますか？）

来年は、まず、桃太郎神社さんとの信頼関係を構築することを一番に考える。
 犬山雅楽会設立の目標は桃太郎神社さんへのご奉仕であるため、良い関係を築きたい。5/5の神事にご奉仕をといわれているのでご奉仕したい。複数の神社からご奉仕にお声をかけていただくが、日にちが重なることがある。それに対しグループを分けていくことを考えている。更なる、一人一人の技量アップが必要とされる。また、お金を稼ぐお仕事もいただけるようにと考える。（金銭的自立）

9. 活動費用の内訳書

【収入】

科目	予算額(円)	執行額(円)	内訳
助成金	200,000	200,000	市民活動助成金
会費	290,000	202,948	団体会計より (@12,000円×12ヶ月+58,948円)
参加費	0	0	
事業収入	20,000	20,000	@20,000円 (お茶と雅楽より出演料)
計	510,000	422,948	/

【支出】

科目	予算額(円)	執行額(円)	内訳
報償費	286,000	266,000	指導料<管弦・舞楽練習> @5,000円×26回=130,000円 No. 1~4 出演料<秋の雅楽演奏会・体験会> @30,000円×1名×2回=60,000円 No. 5 @20,000円×3名=60,000円 No. 6~8 @3,000円×2名=6,000円 No. 9 @5,000円×2名=10,000円 No. 10~11
旅費	34,500	22,500	大和神社秋季例祭 @30×50km×2往復×4名=12,000円 No. 13 八幡神社神事 @30×25km×2往復×7名=10,500円 No. 14
消耗品費	62,000	23,628	事務用品(インク・画用紙・シール等) 23,628円 No. 16~29
印刷製本費	12,000	12,340	チラシ 10,080円 No. 30 印刷代 2,180円 No. 31~33 コピー代 80円 No. 34
通信運搬費 手数料及び	1,000	1,980	送料・切手代 1,980円 No. 35・37
保険料	4,000	0	
人件費	10,500	10,500	誘導・警備 @1,500円×3人=4,500円 No. 38 デザイン料 @3,000円×2回=6,000円 No. 39
使用料及び賃 借料	100,000	86,000	練習会場費(堀部邸) 6,000円 No. 41~46 楽器レンタル@20,000円×2回=40,000円 衣装レンタル@20,000円×2回=40,000円 No. 47
計	510,000	422,948	/

様式第6 (第13条関係)

市民活動助成金実績報告書

令和6年 3月 1日

犬山市長
原 欣伸 様

団体の名称 NPOなのはな

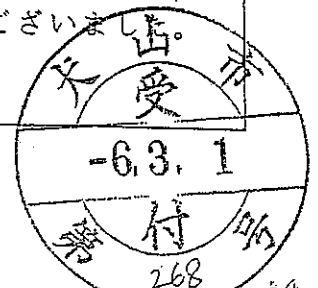
所在地

代表者

(役職) 代表

令和 5年 4月 21日付け 5犬地指令第 12- 号で
交付決定のありました助成金について犬山市市民活動助成金交付要綱
第13条の規定に基づき下記のとおり報告します。

1. 事業名	有機・自然農法で犬山の未来づくり事業
2. 助成金交付額	金 97,000 円 (総事業費 195,485 円)
3. 助成部門	(1)はじめの一步部門 (2)市民活動助成部門 (3)コラボ・マッチング部門 (1)~(3)のいずれかに丸を付けてください。 ※コラボ・マッチング部門の場合、協働する団体の名称
4. 事業実施期間	令和5年 4月 21日 ~ 令和6年 3月 1日
5. 事業の対象・目的 (どのような対象のどのようなニーズに応えようとするものでしたか?)	犬山市民や市外の方に対して『安心安全な食』と『持続可能な環境』を未来に残す事を目的として実施しました。有機・自然農法を学びたいという声が増えたため、今年度は第一歩として学びの場を作り技術を伝授してきました。学びの一年にするという目標は支えてくださる皆様のご協力により達成できたと思います。ありがとうございます。



6. 事業の結果（上記目的のために、いつ頃、どのように事業を実施し、どのような結果が得られましたか？）

■ 4/23(日) 東ふれあいセンター

『畝を立てよう！』畝の使い方、畝の立て方、土作り講座。講師への質問タイムと有機茶とオーガニックおやつを食べながらの交流タイムを設けました。 ※参加者12名

■ 5/21(日) 東ふれあいセンター

『春夏野菜を植えよう！』腐葉土とぼかしの入れ方、植え方、春の管理法講座、質問&交流タイム（トマト、ミニトマト、ナス、ピーマン、万願寺とうがらし、バジルなど） ※参加者21名

■ 7/16(日) 東ふれあいセンター、羽黒の畑

『夏の管理法と大豆の苗植え』水やりや高温、豪雨などの対処法、管理法講座、収穫祭 質問&交流タイムでは収穫した野菜でピザを焼きました。

※カラスの被害や夏の異常な高温でトマトやナスなどの夏野菜は思うように育ちませんでした、バジルやしそは元気でした。失敗から学び、今後の植える時期や植え方を工夫することになりました。（7月は広報犬山に掲載した反響があり、2名の新規参加がありました。） ※参加者17名

■ 9/3(日) 東ふれあいセンター

『秋冬野菜を植えよう！』植え方、秋の管理法講座、質問&交流タイム、メンバー募集のチラシ配布（ブロッコリー、スティックセニョール、キャベツ、ネギなど） ※参加者12名

■ 11/12(日) 東ふれあいセンター

『冬の管理とタマネギの苗植え』冬の霜対策、異常気象時の対処法、タマネギの上手な植え方講座 プリントを配布して解説しながら苗植えを実践しました。 ※参加者8名

■ 1/7(日) 東ふれあいセンター

『七草を探して七草粥を食べよう！』牧野富太郎博士の七草図鑑のプリントを配布し、同じ草がないか親子みんなで探しました。春の七草が5種類見つかри、講師の大根とかぶを加えて七草粥も作りました。そして後半は七草粥を食べながら、雑草の種類を見て土の状態を知る目安表を配布しました。

土壌のpHによって冬から春にかけての対処法、管理法、今後の土作りが変わってくるので

講師に解説をしていただき、個別相談の時間も設けました。 ※参加者15名

※皆様のご協力のおかげで予定していたすべての内容をお伝えすることができました。申請した講座以外にも座学やイベントを開催し、一年間で計52名(延べ131名)の方にご参加いただきました。

7. 事業の成果・効果

(1) 申請時に目指した成果（申請書9. (2)）は達成できましたか？内容を記入してください。

A B C D
達成できた まあまあ どちらかという 達成
達成できた 達成できなかった できなかった (A,B,C,Dのいずれかを○で囲んでください。)

- ① 昨年度の1品目(サツマイモ)から20品目の栽培を増やすことができた。
- ② 野菜は収穫量が少なく、学校給食の規格にも見合わなかったため卸せませんでした。
- ③ メンバー:12人→52人(※参加実人数)に農法を伝授することができました。耕作面積:0.5a→2a(※約4倍)
- ◎ 上記の成果にはどのような要因が考えられますか？具体的に記入してください。

- ① 学びながら共同で耕作することにより一気に栽培品目を増やすことができた。
- ② 夏の異常な暑さや鳥の被害、管理不足もあり収穫量と大きさが揃わなかった。
- ③ メンバーの声かけやSNS、公式LINE、Instagram、チラシ、CCNet、広報犬山、犬山地域資源バンク、山田前市長のFacebook、東コミュニティの皆様のご協力のおかげで参加者も耕作面積も増えました。

(2) 新たな課題は見付かりましたか？内容を記入してください。

A B
課題が 課題が (A,Bのいずれかを○で囲んでください。)
見つけた 見つからなかった

- ・ 農地を広げたため、当初の活動日だけでは管理しきれず、人手や時間、資金、資材、機材、肥料などが予想以上に必要となった。(講師や東コミュニティの会長はじめ皆様が助けてくださいました。)
- ・ 講座に力を入れた分、肝心の農作業やSNSでの告知に手が回らないことがありました。

(3) 貴団体の活動に新たなメンバーの参加や広がりがありましたか？内容を記入してください。

A B
参加があった 参加がなかった (A,Bのいずれかを○で囲んでください。)

- ・ 犬山市民だけでなく市外からもお越しいただき、予想以上にご参加いただきました。また、こども食堂や保育園とも繋がることができ、共感して下さる団体の方によりInstagramのフォロワーも増えました。

(4) コラボ・マッチング部門の場合、コラボレーションすることにより、より良い事業を行えましたか？

(5) その他、事業の実施によって得られた波及効果がありましたら記入してください。

- ・ 講座での栽培や収穫体験を機に家庭菜園を始めたり新たに農地を借りる方がいました。何より安心安全な食や持続可能な環境について考え方が変わったという声をいただけたので、開催した甲斐がありました。

8. 今後の方針（今回の事業を踏まえ、今後どのような事業を実施しますか？）

課題となった人手や時間等については土日の講座に合わせての種蒔きや苗作りはせず、気候に合わせて平日も活動し解決します。次年度は学びから生産に重点を置いて農作業に集中することで提供にも繋がります。規格外の野菜はこども食堂や保育園に、規格内は学校給食に卸せるよう、諦めず活動を続けていきます。

9. 活動費用の内訳書

【収入】

科目	予算額(円)	執行額(円)	内訳
助成金	97,000	97,000	市民活動助成金
参加費	54,000	52,600	参加費(講座受講料)
寄付	15,000	22,867	参加者からのご寄付
自己負担金	28,000	23,018	自己負担金(補填)
計	194,000	195,485	

【支出】

科目	予算額(円)	執行額(円)	内訳
報償費	165,000	165,000	講師への謝礼(25,000円×6回=150,000円) No. 1-6 講座に係る管理費(苗の育成管理、肥料、腐葉土 などの提供等 15,000円) No. 7
旅費	1,500	1,500	ガソリン代(250円×6回=1,500円) No. 8
消耗品費	16,984	27,475	種苗代(たまねぎ 1,000円、夏野菜合計 10,000円) 資材等(5,495円) No. 11-13 No. 9-10 シェード(10,980円) No. 14
印刷製本費	10,516	1,510	チラシ代(データプリント、コピー代) No. 15-20
通信運搬費			
手数料及び			
保険料			
人件費			
使用料及び賃借			
料			
計	194,000	195,485	

10. 本報告書にかかる担当者の連絡先

氏名:

TEL番号:

住所:

E-mail:

様式第6 (第13条関係)

市民活動助成金実績報告書

令和6年 3月 1日

犬山市長

団体の名称 竹の wa INUYAMA

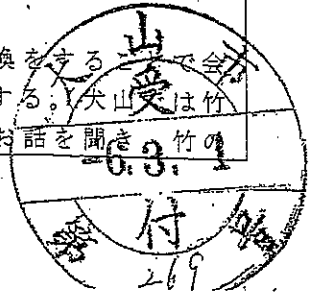
所在地

代表者

(役職) 代表

令和5年 4月14日付け 5犬地指令第11号で交付決定のありました助成金について犬山市市民活動助成金交付要綱第13条の規定に基づき下記のとおり報告します。

1. 事業名	犬山産の竹を使った竹細工のワークショップ
2. 助成金交付額	金 130,000 円 (総事業費 259,415 円)
3. 助成部門	(1)はじめの一步部門 (2)市民活動助成部門 (3)コラボ・マッチング部門 ((1)~(3))のいずれかに丸を付けてください。 ※コラボ・マッチング部門の場合、協働する団体の名称
4. 事業実施期間	令和5年 4月14日 ~ 令和6年 2月28日
5. 事業の対象・目的	(どのような対象のどのようなニーズに応えようとするものでしたか?) 現在では竹の需要が減り、竹が使われなくなり管理されていない竹林も多く竹害とされ問題になっています。古来より良質な竹の産地である犬山。その特性を活かし、犬山の竹材を地元で竹うちわ等のワークショップ・販売を行うことで犬山を盛り上げていく。未来を担うこどもたちに知っていただけるよう楽しいワークショップという手段でより広く伝える。うちわ作りの工程の説明をして、ものづくりの工程を知る事により一つのものを作るのにもたくさん人の工程・労力がかかっていることに気づき、物や資源を大切に作る心を育てる。ワークショップを通じ日本の心、文化、伝統技術を感じてもらいそのような気づきのきっかけを作る。犬山と竹の歴史を知ってもらうことで普段何気なく見ていた近所の竹林にも興味を持つきっかけを作る。里山を自分たちで管理し守っていくという事を子供のころから認識してもらう。 竹林整備イベントを実施し実際に体験してもらうことにより、竹林の管理の大切さ大変さを知ってもらう。嘗て竹の産地だった犬山こそ竹山の整備の必要のある場所も多く一部だけでなく他の場所でも整備が実践できるようワークショップで技術・知識を共有し仲間を増やし、より多くの竹林整備・竹の活用方法を探す。 大きなイベントだけでなく定期的に呼びかけをして竹林整備をしたり、意見交換をする。山で金竹、犬山愛は竹、竹の話を聞き、竹の



269

知識を共有し今後の活動につなげていく。)

6. 事業の結果(上記目的のために、いつ頃、どのように事業を実施し、どのような結果が得られましたか?)

4~8月をメインに通年竹うちわの紙貼り体験ワークショップを行いました。

子どもから大人まで幅広い年齢層の方に体験いただけました。留学生など海外から来たお子様にも体験いただけました。

5月には犬山でLGBTQの方を知っていただくために活動されている団体「木もれ陽」とコラボしてLGBTQのシンボルカラーであるレインボーうちわ作り体験&交流会を余遊亭で行いました。その際作ったうちわを次週の名古屋レインボーパレードにレインボーフラッグ代わりに持って木もれ陽のメンバーの方々に参加していただけました。

他団体さんとコラボすることにより竹分野や犬山以外の場所でも活動をPRすることができました。

6月に行ったたけのこ祭りイベントは大好評でお子さん含めて19名の方にご参加いただけました。イベントの際CC Netさんにも取材にお越しいただき広く活動を知っていただくきっかけになりました。

未就学児から小学生高学年のお子様にも楽しんでいただきました。手で簡単に折ることができるのでお子さんでも楽しく採っていただけました。自身で採ったたけのこを調理して食べ美味しかったのか味付けをしたものは完食してくださいました。水煮をそれぞれお持ち帰りいただきこんな風に食べたよ!など皆さん各御家庭それぞれ後日ご報告を頂き楽しんでいただくことができました。

昨年度から活動を始めて多くの方に活動を知っていただけただけのおかげで市内外から竹のご縁で他団体さんとも繋がることができました。名古屋市守山区の"灯 Link"さんという団体ともコラボして年末年始に犬山城の竹灯りの装飾に竹うちわの骨を提供させて頂くこともできました。

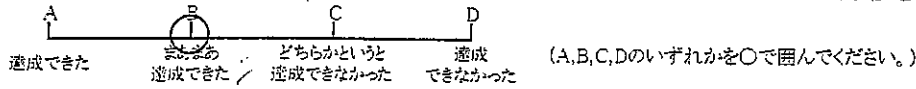
秋に予定していた竹林整備イベントと田楽・竹細工イベントは会場に蜂の巣ができていた為、安全面を考慮し開催時期を変更したものの、期間中実施できず今年度は中止と致しました。竹林整備しながら端材処理の熱で焼き芋を焼いて食べるイベントは2月に貞林寺竹林にて実施しました。

6名の方にご参加いただき竹林の伐採などしつつ竹の事や山の管理について学んでいただきました。

参加者の中に農園の支柱などに竹を持って帰りたいという希望者も2名いらっしゃった為、その場で加工し持ち帰り活用して頂きました。

7. 事業の成果・効果

(1) 申請時に目指した成果（申請書 9. (2)）は達成できましたか？内容を記入してください。



竹うちわワークショップ：目標 64 名 → 73 名 達成

田楽ワークショップ：目標 12 名 → 中止 未達成

竹林整備ワークショップ：目標 20 名 → 25 名（たけのこ狩り 19 名・竹林整備 6 名）達成

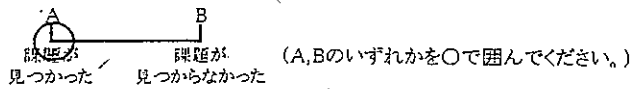
会員数の増減：目標 4 名 → 1 名 未達成

各ワークショップなどを通じ、100 本以上の竹の伐採を行うことができました。

◎ 上記の成果にはどのような要因が考えられますか？具体的に記入してください。

自然の竹林対象の事業なので蜂の巣ができてしまったり、想定外のことが起きてしまったことによりできなくなってしまったイベントがあった。今回は大丈夫でしたが、たけのこ等も生えてくる時期も年によって違ったり生えてこないことも考えられるので今後も都度、臨機応変に対応していけるようにしていく必要があるとわかった。

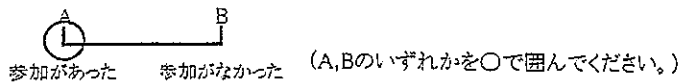
(2) 新たな課題は見付かりましたか？内容を記入してください。



竹うちわなどで使う竹骨を作るにも一人で作っている為、とても時間がかかりいっぱいいっぱいになってしまうので、今後うちわの骨を作ったり、もっと犬山の竹を有効活用できるように竹細工ができる人員を増やす必要があるとわかった。

竹林整備などもより多くの場所を行うとなると竹の wa INUYAMA の会員だけでは知識や人手も足りないので、もっと市内外の竹関係の団体さんと交流を深め助け合っていく必要があるとわかった。

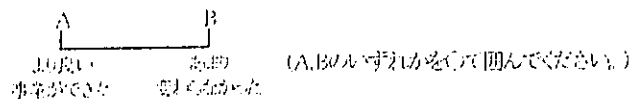
(3) 貴団体の活動に新たなメンバーの参加や広がりがありましたか？内容を記入してください。



会員が 1 名増えました。会員以外にも昨年度イベントにお越しいただいた方に今年度もご参加いただいたり、チラシなど告知を行っていただけの方など協力者も増え、継続的に交流できるような関係性の方が増えてきました。

イベント以外でも竹林整備をする際は手伝うよと言ってくれる方も増えました。

(4) コラボレーション・リンク部門の場合、コラボレーションする団体により、より良い事業を行えましたか？



(5) その他、事業の実施によって得られた波及効果がありましたら記入してください。

8. 今後の方針（今回の事業を踏まえ、今後どのような事業を実施しますか？）

毎年好評だった竹うちわ作り体験のワークショップとたけのこ狩りのワークショップは引き続き行ってきたいです。イベント時にもっと竹細工などもやってみたいというお声もいただき、竹細工ができる協力者を増やすためにも来年度では本格的にNPO法人グリーンウッドワーク竹部会様に依頼し、竹かご作りのワークショップを行う予定です。

今後もイベントや交流で知り合った方にお声を頂きニーズに合った、竹に関するイベントを考えていきたいと思えます。市内で竹林整備を行っている「中島池竹の会」さんとも繋がれたので、中島池周辺に訪問したり今後交流していきたいと思っています。

他団体さんとも交流を行い輪を広げ、地域全体で盛り上げていけるよう活動していきます。

9. 活動費用の内訳書

【収入】

科目	予算額(円)	執行額(円)	内訳
助成金	130,000	129,000	市民活動助成金 96,800 / 14,500
ワークショップ参加費	119,000	118,800	竹うちわ大人 2,200円×44人、子供 500円×29人 たけのこ狩り大人 500円×9人、4,500 竹林整備 500×6人 3,000
竹細工販売	11,000	11,000	竹うちわ 2,200円×5本
自己資金	1,800	615	
計	261,800	259,415	

【支出】

科目	予算額(円)	執行額(円)	内訳 領収書 No.
報償費	30,000	30,000	たけのこ狩りチラシデザイン費 15,000円 1 竹林整備チラシデザイン費 15,000円 1
旅費	0	0	
消耗品費	53,000	69,570	文具・消耗品費(テープ、袋等) 19,183円 2,3,4,5 うちわ材料(骨、和紙、糸等) 19,470円 6 ベルトディスクサンダー 19,437円 7 工具(カンナ、ノコギリ替刃等) 11,480円 8
印刷製本費	26,000	15,045	チラシ印刷費(300部) 5,000円 1 うちわ用紙印刷(100部) 3,170円 9 リーフレット印刷費(300部) 1,875円 10 チラシ印刷費(300部) 5,000円 11
通信運搬費	3,000	0	
手数料及び保険料	1,800	1,200	行事保険 1人 30円×20人×2回 1,200円 12,13
人件費	146,000	143,600	竹材運搬 1回 1,000円×3回 3,000円 14~16 うちわ用竹骨作成 1本 400円×150本 60,000円 17 うちわワークショップ 1回 800円×2人×26回 41,600円 18~47 たけのこ狩りワークショップ 1回 3,000円×5人 15,000円 48~52 竹林整備ワークショップ 1回 3,000円×5人 15,000円 53~57 竹端材焼却作業 1回 1,500円×1人×6回 9,000円 58~63
使用料及び賃借料	2,000	0	
計	261,800	259,415	

10. 本報告書にかかる担当者の連絡先

氏名 :

電話番号 :

住所 :

E-mail :

市民活動助成金実績報告書

令和6年3月4日

犬山市長

団体の名称 O_COLOR

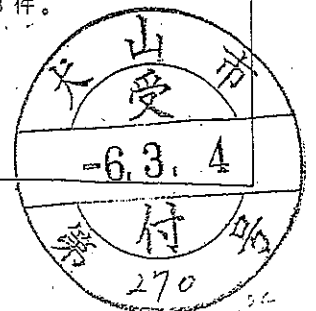
所在地

代表者

(役職) 代表

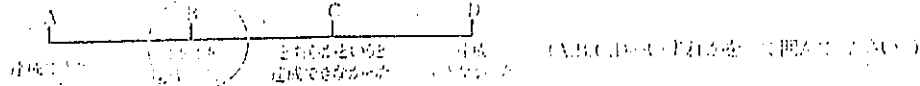
令和5年 5月23日付け5犬地指令第17号で交付決定のありました助成金について犬山市市民活動助成金交付要綱第13条の規定に基づき下記のとおり報告します。

1. 事業名	O_COLOR LGBT活動
2. 助成金交付額	金 100,000 円 (総事業費 197,518 円)
3. 助成部門	(1)はじめの一步部門 (2)市民活動助成部門 (3)コラボ・マッチング部門 ((1)~(3))のいずれかに丸を付けてください。 ※コラボ・マッチング部門の場合、協働する団体の名称
4. 事業実施期間	令和5年 5月23日 ~ 令和6年 3月 4日
5. 事業の対象・目的 (どのような対象のどのようなニーズに応えようとするものでしたか?)	多様性のひとつでもある LGBTQ・セクシャルマイノリティについて、誰もが生きやすい町づくりを目指す。また、多様性の在り方について、多くの人に LGBTQを知って頂くきっかけ作りをすること。
6. 事業の結果 (上記目的のために、いつ頃、どのように事業を実施し、どのような結果が得られましたか?)	2023. 7. 9 マルシェ (ワークショップ出店) 7人参加。アンケート回答 20件。 2023. 7. 24 今井小学校 (講演研修) 教員、教員関係者 20名参加。アンケート回答 13件。 2023. 10. 8 マルシェ (ワークショップ出店) 8名参加。アンケート回答 8件。 2024. 2. 10 交流会 6名参加。 2024. 2. 27 企業研修 (大同メダル工業) 14名参加。アンケート回答 14件。



7. 事業の進捗・効果

(1)申請時、且指し定成果（申請書P.12）は達成できましたか？内容を記入してください。

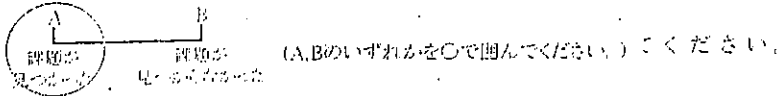


周知活動により、性的マイノリティのイメージが大きく変わったと参加者から言ってもらえました。

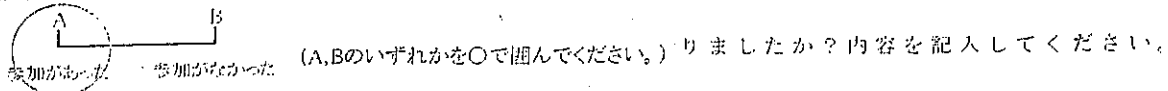
アンケートを各回で回答してもらい、アンコンシャスバイアスへの気づきや、性的マイノリティに対する前向きなイメージの変化を確認することができました。

② 上記の成果にはどのような要因が考えられますか？具体的に記入してください。

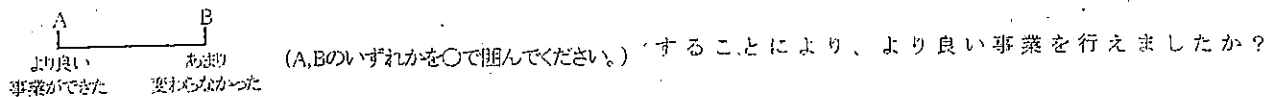
LGBTという言葉だけでは、やはり関わりにくい部分があったようで、地域のイベントや講演会をすることで、知るきっかけやより深く知るによりイメージや関わりやすさを感じてもらえたと思います。



今回の事業を通して、性的マイノリティをより当たり前に感じてもらえるよう、地域のイベントや講演会を継続していくことが大切だと思いました。



活動に興味を持ってくれた方が、何人かマルシェ、交流会へ参加してくださいました。



(5)その他、事業の実施によって得られた波及効果がありましたら記入してください。

参加者からのつながりで新たに参加者が増えた。

講演の依頼が来た。(令和6年7月頃人権擁護委員に向けた講演を実施予定)

8. 今後の方針（今回の事業を踏まえ、今後どのような事業を実施しますか？）

ワークショップ出店では、さらに多くの人に知るきっかけを増やせるよう各地の地域イベントへの出店を実施する。

研修講演事業では、分かりやすさ、伝わりやすさをより重視した研修や講演を実施していく。

9. 活動費用の内訳書

【収入】

科目	予算額(円)	執行額(円)	内訳
助成金	100,000	98,000	市民活動助成金
会費	120,000	92,018	団体会費
自己資金	10,000	0	代表自己資金
ワークショップ	0	7,500	ワークショップ 出店収入
計	230,000	197,518	

【支出】

科目	予算額(円)	執行額(円)	内訳
報償費	30,000	28,200	チラシデザイン謝礼・研修講師料 No.1
旅費	30,000	26,310	活動交通費 No.2
消耗品費	95,000	68,679	事業実施材料、事務用品 33,842円 No.3~No.9 ワークショップブース用品 34,837円 No.10~No.17
印刷製本費	5,000	1,200	チラシ等のコピー代 No.18
通信運搬費	10,000	144	切手、FAX送付料 No.19
手数料及び 保険料	5,000	995	振込手数料、No.19 施設予約変更手数料、No.21
人件費	55,000	64,000	さらさくらマルシェ 1,000円×5h×3人 15,000円 今井小学校講演 1,000円×4h×3人 12,000円 日本モンキーセンターマルシェ 1,000円×7h×4人 28,000円 LGBT交流会 1,000円×3h×3人 9,000円 No.20
使用料及び 賃借料	0	7,990	会場賃借料 5,490円 No.21,22 ワークショップブース出店料 2,500円 No.22
計	230,000	197,518	

